

学校評議員による評価	学校からのコメント及び次年度に向けての方向性
<p>I 学校における自己評価活動の取組み</p> <p>I. 1 『学校経営・運営ビジョン』と校内組織体制について</p> <p>・本校の教育目標に沿って4つの育成プランを立てており、たいへんよくできている。 ・生徒の現状に合わせ、より生徒を伸ばすためにはどうすべきかという観点で作られており、現状で良いと思う。ただ、時代とともに生徒も変化していくので、そこを見極め若干の見直しをしながら取り組んでほしい。 ・とても細かく計画されていると思う。</p> <p>I. 2 『学校経営・運営ビジョン』の展開と自己評価について</p> <p>・全体的に良い方向に展開している。 ・年間計画通りに運ばれており、適切に展開されていると思う。評価は教員が高く生徒は若干低めの傾向があるが、評価が向上するように粘り強く取り組んでほしい。 ・全体的に改善しようとする努力が見られる。</p> <p>I. 3 広報とアンケート等について</p> <p>・アンケート結果から見ると、生徒より保護者の方が理解をもっていると思われる。 ・学校から発信されるさまざまな情報はよく提供されていると思う。「オーロラ」はビジュアル的で見ただけで内容が伝わってくる。アンケートは生徒・保護者とも10名程度未提出のようだが、その人達の回答によって評価も大きく変動すると思う。関心がないのかルーズなのか忘れたのか、未提出者の今後の観察と指導をお願いしたい。 ・先生方の一生懸命さが伝わってきた。</p> <p>I. 4 取組み状況全体について</p> <p>・良い方へ改善されている。 ・教育の結果として現れるのは出席状況、進路先、非行件数、特別指導数、退学者数などである。データを見る限りよく取り組んでいて良い結果が出ていると思う。授業参観しても生徒達は落ち着いて学習に取り組んでおり、先生方もわかりやすく指導していると思う。 ・生徒がひとりでも多く社会に出て、関わっていただけるようにできればと思う。</p>	<p>学校からのコメント及び次年度に向けての方向性</p> <p>学校経営・運営ビジョンは、生徒の実情を考慮して策定している。今年度は「個に応じた指導」をキーワードに取り組んだ。次年度も生徒の実態をふまえ、共通理解のもと取り組んでいけるようにしたい。</p> <p>担当校務分掌以外の評価は、教職員が丸となって取り組むこと、学校全体の校務内容・進捗状況を把握できると同時に教職員の積極的な取組みを促すことを目的としている。この評価活動は、学校改善にもつながっており、有効な手段となっていることから、次年度も継続していきたい。</p> <p>学校からの情報提供は、生徒、保護者には紙媒体で配付、学校案内・広報誌はホームページ(HP)に掲載し、地域の人々に本校の情報を提供している。今年度は広報誌の発行が少なかったことが反省点であり、次年度は頻度をあげて発行できるように改善していきたい。</p> <p>教員は手厚く生徒を指導しており、生徒は小中学校時不登校であっても休まず登校する傾向にある。今後も親身になった指導を継続したい。また、アンケートの結果をふまえ、生徒の思いをさらにくみ取りながら指導していけるよう、共通理解をもって取り組んでいきたい。</p>
<p>II 自己評価活動と学校評価全体への学校の組織的な取組みとその改善</p> <p>・とてもわかりやすくなっていると思う。 ・校長先生をはじめ、教職員全員で良い方へ改善されていると思う。 ・適切に展開されていると思う。教員も毎年若干の出入りがあるので、共通目標に向かって全教職員で取り組む姿勢を維持してほしい。</p> <p>III その他</p> <p>・随時、報道機関を利用してPRしていただければと思う。 ・人間は多くの人との交流でさまざまなことを学んでいく。生徒数が少なければ、クラスを中心にして縦のつながり（他学年との交流）を重視してはいいか。例えば生徒会の組織を拡大（定員増）して行事を行うときに参加させれば積極的能動的になるのではないかと考える。生徒と先生の年齢差とあるが、裏を返せば経験豊富なベテランの先生方であり、さまざまな学校でいろいろな生徒を見てきた経験を活かして教育活動にあたってほしい。定時制は生徒ばかりでなく先生方も働きながら学ぶ学校だと考える。就労率の低下が心配。働かないのであれば個別指導で資格取得に挑戦させるとか図書室の豊富な本を利用させるなど工夫してほしい。</p>	<p>小規模校で生徒が少ないため、教職員の目が生徒一人ひとりに届いており、生徒の変化に対する対応と情報共有の形が作られているという点が本校の強みである。この強みを活かすためにも、教職員が共通理解の下で生徒に寄り添った指導を今後も続けていきたい。</p> <p>現1・2年生を合わせても現3年生より実質的に少ない人数であり、生徒会活動や行事等を含め、次年度以降のさまざまな活動については、学年にとらわれず、全校生が全員で作るという意識を醸成していけるよう取り組んでいく必要がある。資格取得については現在パソコン利用技術検定取得を進めているが、他の資格についても生徒の実態を見ながら検討していきたい。</p>